

個別施設計画一覧表(橋梁)

別添の別紙(一覧表)

【更新年月日:平成31年3月18日】

[illegible]

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号番号	10	施設管理者	美里町
路線名	中央砥用線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	芳ノ谷橋
施設の所在地	美里町 弘川	起点からの距離	0.6km	建設年度	1991
供用年数	28	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.30m(6.30m)		幅員(車道幅員)	9.0m(8.2m)
	施設の構造等	上部工型式	単純RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	無
		支承形式	その他	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	200m以上	
施設の目的利用実態等	林道中央砥用線の利用区域には、整備すべき森林が存在することから、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年11月17日				
	調査結果	健全				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	橋梁には、劣化による損傷は生じていない。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	5年に1回の点検にて橋梁の状態を把握する。				
	実施予定時期	次回点検まで対策不要とする。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 対策不要のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	—				
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
対策費用 (百万円)					0.2					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号番号	10	施設管理者	美里町
路線名	中央砥用線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	吐合橋
施設の所在地	美里町 境	起点からの距離	17.4km	建設年度	2001
供用年数	18	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	平成8年道示	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	幕川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	31.50m(30.00m)		幅員(車道幅員)	6.2m(5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	単純ポステン中空床版			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム製	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	200m以上	
施設の目的利用実態等	林道砥用中央線の利用区域には、整備すべき森林が存在することから、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成31年1月11日				
	調査結果	A2上流側翼壁部に斜面崩壊による土砂の流出が生じている。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	A2上流側翼壁部には、山からの湧水の影響を受けやすいことや、路面排水の流末が翼壁の盛土部となっているため、それらの水の影響により表層土が洗われ盛土が消失したものと推測される。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	A2橋台背面の詳細調査を行い、土砂流出の要因を特定する。				
	実施予定時期	次回点検までを目途に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 何らかの対策は必要と判断されるため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	対策工費 約500千円				
管理方法	管理方法	適切な時期に対策を行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
対策費用 (百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号番号	10	施設管理者	美里町
路線名	中央砥用線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	大露山橋
施設の所在地	美里町 早楠	起点からの距離	24.0km	建設年度	1995
供用年数	24	種別	鋼橋	型式	鋼箱桁橋
道路橋示方書	平成2年道示	橋格(設計荷重)	1等橋(20t)	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	39.34m(39.34m)		幅員(車道幅員)	6.7m(5.7m)
	施設の構造等	上部工型式	単純箱桁(合成)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA490,400	塗装使用の有無	有
		支承形式	鋼製	落橋防止の有無	有	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	200m以上	
施設の目的利用実態等	林道中央砥用線の利用区域には、整備すべき森林が存在することから、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年11月15日				
	調査結果	健全				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	橋梁には、鋼材塗装に経年劣化によるものと思われる軽微な塗膜劣化が生じている。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	5年に1回の点検にて橋梁の状態を把握する。				
	実施予定時期	次回点検まで対策不要とする。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 対策不要のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	—				
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
対策費用 (百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

個別施設整理番号	4	林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	美里町
路線名	黒谷線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第一橋
施設の所在地	美里町 木早川内	起点からの距離	0.6km	建設年度	1976
供用年数	43	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.50m(8.50m)		幅員(車道幅員)	5.6m(5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	単純RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	無
		支承形式	その他	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	200m以上	
施設の目的利用実態等	林道黒谷線の利用区域には、整備すべき森林が存在することから、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年11月14日				
	調査結果	健全				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	橋梁には、劣化による損傷は生じていない。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	5年に1回の点検にて橋梁の状態を把握する。				
	実施予定時期	次回点検まで対策不要とする。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 対策不要のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	—				
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
対策費用 (百万円)					0.2					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

個別施設整理番号	5	林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	－
路線名	黒谷線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第二橋
施設の所在地	美里町 木早川内	起点からの距離	1.1km	建設年度	1977
供用年数	42	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	昭和47年道示	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	黒谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.00m(10.00m)		幅員(車道幅員)	5.6m(5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼(非合成)			
			鋼製(使用鋼材)	SS400	塗装使用の有無	有
		支承形式	鋼製	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明
	橋脚工型式	－		海岸からの距離	200m以上	
施設の目的利用実態等	林道黒谷線の利用区域には、整備すべき森林が存在することから、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年11月14日				
	調査結果	A1側支点部周辺に局所的に断面減少を伴う腐食が生じている。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	橋梁には、鋼材全体に塗装の劣化が生じている。特に支点部では、目地の止水性能の低下による橋面水の浸入が見られるため、局所的に腐食が助長されたものと考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	塗装塗替工などによる補修を行う。				
	実施予定時期	次回点検までを目途に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 何らかの対策は必要と判断されるため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	上部工補修工(Co) 約700千円、塗装更新 約1000千円、橋面補修工 約2600千円				
管理方法	管理方法	適切な時期に対策を行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
対策費用 (百万円)					0.2					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

個別施設整理番号	6	林道台帳索引番号番号	20	施設管理者	－
路線名	早楠線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	長谷橋
施設の所在地	美里町 早楠	起点からの距離	0.0km	建設年度	2001
供用年数	18	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	平成12年道示	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	津留川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.00m(20.00m)		幅員(車道幅員)	5.2m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	単純ポステン中空床版			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム製	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	200m以上	
施設の目的利用実態等	林道早楠線の利用区域には、整備すべき森林が存在することから、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年11月16日				
	調査結果	健全				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	橋梁には、劣化による損傷は生じていない。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	5年に1回の点検にて橋梁の状態を把握する。				
	実施予定時期	次回点検まで対策不要とする。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 対策不要のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	—				
管理方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
対策費用 (百万円)					0.2					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

個別施設整理番号	7	林道台帳索引番号番号	16	施設管理者	美里町
路線名	塩井戸線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	鷹羽重橋
施設の所在地	美里町 早楠	起点からの距離	0.5km	建設年度	2001
供用年数	18	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.00m(18.00m)		幅員(車道幅員)	5.9m(5.5m)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼(非合成)			
			鋼製(使用鋼材)	SS400	塗装使用の有無	有
		支承形式	鋼製	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	200m以上	
施設の目的利用実態等	林道塩井戸線の利用区域には、整備すべき森林が存在することから、当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年12月27日				
	調査結果	支承や主桁に腐食が生じている。床版に外力作用による欠損が見られる。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	橋梁には、鋼材支点部に目地の止水性能の低下による橋面水の浸入や、山の土砂が堆積している状況が見られるため、常時湿潤状態であることが腐食の原因であると考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	塗装塗替工などによる補修を行う。				
	実施予定時期	次回点検までを目途に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 何らかの対策は必要と判断されるため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	上部工補修工(Co) 約3000千円、塗装更新 約3000千円、橋面補修工 約4000千円				
管理方法	管理方法	適切な時期に対策を行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。				

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
対策費用 (百万円)					0.2					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

別添の別紙(一覧表)

個別施設一覧表(トンネル)

【更新年月日:平成31年3月18日】

[illegible]

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	11	林道台帳索引番号番号	10	施設管理者	美里町
路線名	中央砥用線	林道種類及び区分	自動車道1級	トンネル名	御坂トンネル
施設の所在地	美里町 坂本	起点からの距離	6.5km	建設年度	2009
供用年数	10年	設計または適用設計 技術基準の年度	不明	トンネル等級	D

施設概要	施設の規模	延長	119m	全幅員	5.0m	建築限界高さ	4.5m	内空断面積	28.8㎡	縦断勾配	－	
	施設の構造等	トンネル分類		陸上トンネルNATM工法		トンネル工法		補助ベンチ付全断面工法		通行規制の有無	無し	
		壁面種類		覆工(内装なし)		天井板種類		覆工(天井板なし)				
		坑門(起点側) 形式・延長		面壁型 0.4m		交通量		－		排水	自然排水	
		坑門(終点側) 形式・延長		面壁型 0.4m		舗装		コンクリート系				
		道路附属物、占用物件		照明(高圧ナトリウム灯10基、無電極ランプ6基)								
	施設の目的利用実態等	林道塩井戸線の利用区域には、整備すべき森林が存在することから、当該施設は森林組合等により利用されている。										
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年12月27日										
	調査結果	側壁やアーチにうきが複数見られる。(可能な範囲での叩き落としなどによる措置済み。)										
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期措置段階)		トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。								
	劣化原因	施工時の不具合に起因するコンクリートの材質劣化によるものと推測される。										
	長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度									
内容		断面修復工による補修を行う。										
実施予定時期		次回点検までを目途に実施する。										
施設の優先度		中	(優先度の考え方) 何らかの対策は必要と判断されるため、優先度は「中」とした。									
対策費用(概算)		断面補修工(Co) 約1000千円										
管理方法	管理方法	適切な時期に対策を行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。										

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
対策費用（百万円）					2.0					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考	